

平成 26 年度 新磯地区地域活性化事業交付金決定事業の概要と評価

申請事業名	ざる菊花見会 [1]
申請団体	新磯ざる菊愛好会
事業目的等	<p>新磯地区の秋の魅力を高めるため、「ざる菊」による花の名所づくりを推進し、秋の観光名所として市内外からの交流人口の増加を図るとともに、他団体との連携を促進することにより、新磯地区の地域活性化に寄与することを目的とする。</p> <p>平成21年度からざる菊の栽培に取り組んでおり、「ざる菊花見会」の開催は今年で6回目を迎える。来場者も年々増加しており、昨年は約12,000人を超えるなど、地域の秋の風物詩として定着し始めている。</p> <p>今年は、更なる来場者の増加を見込んで、安全対策を強化するとともに、敷地規模の更なる拡大や新品種の苗を導入することで、より一層のサービス向上を図り、市内外へのPRを充実することにより、地域の賑やかしに貢献する。</p> <p>また、関係団体・機関等との連携を深め、地区内外における「ざる菊」展示の拡充や児童、高齢者等への温かいおもてなしを実践することにより、本活動の成果を積極的に地域に還元していく。</p>
交付決定日	平成26年 8月29日
交付決定金額	97,000 円 (全体事業費 194,633 円)
団体実績報告	<p>事業実績</p> <p>勝坂歴史公園南側に位置するところに、住民有志で紅、白、黄、ピンクなど約1,600株のざる菊を栽培し、10月下旬から11月中旬頃までざる菊花見会を開催</p> <p>期間:10月26日～11月16日、来場者数約13,000人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポスターの制作及び市庁舎・公共施設等への掲示 ・南区合同庁舎、まちづくりセンター、地区内の観光・文化施設及び福祉施設等へのざる菊展示によるPR <p>花見会式典:11月3日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元産の野菜、卵、焼き芋やざる菊の販売及びオカリナ、太鼓、はやし等の演奏 <p>「勝坂遺跡縄文まつり」との相互協力(11月3日)</p> <p>新磯観光協会との連携による写真コンテストのPR</p> <p>自己評価</p> <p>地域活性化事業交付金の活用等により、「ざる菊」による花の名所づくりを推進し、地域の秋の観光名所として、市内外から多くの方にご来場いただき、その成果も十分に表れている。</p> <p>今年は、敷地規模の更なる拡大や新品種の導入することで、より一層のサービス向上を図るとともに、駐車場等における交通指導員の増員等により安全対策の強化を図った。「勝坂遺跡縄文まつり」や同時期に協力関係のとれる団体との連携強化を図ることにより、一日楽しめる新磯巡りを推進し、地域の観光PRや賑やかしに貢献した。</p>
市評価	<p>「ざる菊花見会」の開催が市内外に広く周知され、来場者の増加がより一層見込まれる中、敷地規模の更なる拡大や新品種の苗を導入するなど、イベントの質やサービスの向上を勘案した事業展開がなされ、安全対策も図られている。</p> <p>「勝坂遺跡縄文まつり」との連携強化や他団体との連携により、地区内の秋のイベントとしての相乗効果をもたらしている。</p> <p>色鮮やかで、日々その色合いを変えるざる菊の魅力により、秋の新磯地区の活性化を達成しているものと評価するとともに、今後の事業展望においても継続性や発展性が見込まれ、地域の賑わいを増す更なる魅力づくりが期待される。</p>
備考	

申請事業名	災害時における自助・共助推進事業	[2]
申請団体	新磯地区自治会連合会	
事業目的等	<p>大地震等の災害に備え、地域住民等に対して、事前の防災・減災対策及び発災時の防災行動等を適切に進めるための具体的な防災関連情報を伝え、自助・共助の取り組みの実践に活用していただくため、チラシ「新磯実践防災」を新たに発行し、地域防災力の向上に資する。</p> <p>また、併せて自治会加入促進の啓発記事を掲載し、「共助」の基礎である地域コミュニティの向上を図る。</p>	
交付決定日	平成27年 3月2日	
交付決定金額	280,000 円 (全体事業費 280,000 円)	
団体実績報告	<p>事業実績 災害時における自助・共助の取り組みの実践に活用していただくためのチラシ「新磯実践防災」の発行 10,000 部 *掲載内容:地域防災活動における自助・共助の必要性、災害時実践対応型訓練の実施、災害時要援護者避難支援事業の推進、地区防災計画の策定、わが家の防災対策、避難の心得、新磯防災マップ(避難所・一時避難所・広域避難場所等)、自治会加入促進啓発 地区住民、新磯地区防災連絡協議会の構成団体(39の組織・機関等)及び公共施設等に広く配布</p> <p>自己評価 チラシ「新磯実践防災」を発行することにより、住民一人ひとりが「自助」「共助」を実践し、自ら災害に備えていくための取り組みを一層推進した。 自治会加入促進の取組も併せて展開することにより、お互いに助け合う「共助」の基礎である地域コミュニティの向上を図った。 着実に地域防災力を向上させていくためには、より多くの地区住民の協力と理解が不可欠であることから、次年度以降も引き続き、防災面での自助・共助意識やコミュニティの重要性について、更なる住民理解を深めてまいりたい。</p>	
市評価	<p>当事業は、災害時に備えた地区内における自助・共助の取り組みの実践につながる事業であるとともに、自治会加入促進の取り組みが図られている。</p> <p>地域の防災行動力となる地区内の関係組織・機関等に対して、積極的な情報提供を行うことで、地区全体の防災力の向上に寄与している。</p>	
備考		

申請事業名	新磯桜まつり第20回記念事業	[3]
申請団体	新磯桜まつり実行委員会	
事業目的等	<p>近年、高齢化の進展や生活様式の変化等に伴う自治会加入率の低下、地域活動への参加の減少、地域コミュニティの活力低下が危惧されており、様々な機会を捉えて、地域住民同士のふれあいや交流を行い、より一層地域のつながりを深めていく必要がある。</p> <p>こうした中、地域住民の親睦と融和を図ることを目的とした「新磯桜まつり」が本年度で第20回目という節目を迎えるにあたり、地域全体でともに祝い、地域のコミュニティづくりに向けて、より一層の交流を深めるため、桜のライトアップ等の様々な催しによる記念事業を実施する。</p>	
交付決定日	平成27年 3月5日	
交付決定金額	190,000 円	(全体事業費 190,000 円)
団体実績報告	<p>事業実績 新磯桜まつりの第20回記念事業として「前夜祭」を実施 日時:平成27年3月28日午後4時～午後8時30分 場所:新磯公民館駐車場及び市道新磯 実施内容: ・桜のライトアップ、提灯の点灯(新磯まちづくりセンター前を中心に桜木7本の範囲を点灯) ・点灯式、催し(お琴の演奏、野点、ピンゴゲーム、輪投げ、点灯式カウントダウン) ・各種模擬店</p> <p>自己評価 地域住民の親睦と融和を図ることを目的とした「新磯桜まつり」が本年度で第20回目という節目を迎え、本事業(前夜祭)を通じて、桜のライトアップや各種催し等を実施することにより、ともに祝い、地域住民同士の交流やコミュニケーションを広げることにつながることができた。</p> <p>本事業の実施に際して、新磯観光協会や地区自治会連合会をはじめ、地域内の団体・サークル等の参加協力をいただき、公共的活動に対する参加者増加につながった。</p> <p>地域活性化事業交付金の活用により、市内外から多くの方にご来場いただき、地域コミュニティの更なる活性化に寄与しているものと考えます。</p> <p>本事業をきっかけに、「新磯桜まつり」をより一層賑わいのある、魅力あふれるまつりにしていくとともに、より多くの住民が地域の文化・観光事等に積極的に参加できるよう地域の結びつきを深めていければと考えている。</p>	
市評価	<p>当事業の実施により、地域住民同士のふれあいや交流をより一層深めるとともに、地域コミュニティの維持・活性化に大きく貢献している。</p> <p>当事業を通じて、親子や子ども達の積極的な参加を促すことができ、新たな地域の担い手育成のきっかけづくりにも寄与している。</p>	
備考		

申請事業名	相模川下磯部地区芝ざくら保全事業	[4]
申請団体	相模川芝ざくら下磯部愛好会	
事業目的等	<p>相模川の河川敷はかつて雑草が繁茂し、不法投棄など河川環境が悪化していたことから、相模川の自然と環境を守るため、下磯部地区において、平成16年度から18年度にかけて、延長約545メートル区間の堤防敷を整備するとともに、「芝ざくら」を植栽し、その育成と維持管理を今日まで実施している。また、毎年4月には市の地域活性化イベントである「相模川芝ざくらまつり」を開催し、多くの来場客で賑わっている。</p> <p>しかしながら、芝ざくらの維持管理を開始してから約10年が経過し、会員の高齢化が進むなど、年間を通しての除草作業等が大きな負担となっている。また、芝ざくらは数年経過すると老化し枯れ始めるため、順次新しい苗に更新させていく必要がある。</p> <p>こうした課題に対応していくため、雑草の発生を抑制する防草シートを、昨年度に引き続いて敷設するとともに、適切な苗の植え替えを実施することにより、除草作業等の負担軽減を図り、更なる効率的・効果的な芝ざくらの維持管理を推進する。</p>	
交付決定日	平成27年 3月12日	
交付決定金額	700,000 円	(全体事業費 810,000 円)
団体実績報告	<p>事業実績 老化や夏の猛暑によって枯れた部分を始め、スギナなど雑草処理のため、法面の補修を施した個所等において、防草シート(延長約150メートル)を敷設 種類別に適切な配列を考慮して、芝ざくら苗(交付金分約4,000株)の植え付け作業を実施 苗の植え付け完了後、速やかに散水等適切な植栽管理を実施</p> <p>自己評価 地域活性化事業交付金を活用し、スギナなど雑草の発生を抑制する防草シートを敷設することにより、除草作業等の負担軽減が図られ、効率的・効果的な芝ざくらの維持管理を行うことができた。 今後も、相模川の自然と環境を守り、芝ざくらの良好な景観を保持していくため、引き続き必要な個所における法面の補修及び防草シートの敷設等を計画的に実施し、維持管理の充実を図ってまいりたい。</p>	
市評価	<p>相模川の芝ざくらは、毎年4月の開花時期には、市内外から15万人前後の来場者が訪れ、市の魅力ある観光資源の一翼を担うとともに、新磯地区の地域活性化に寄与している。</p> <p>河川敷に芝ざくらを植えることにより、河川環境も大きく改善され、不法投棄の防止をはじめ相模川の自然と環境を守る役割に大きく貢献している。</p>	
備考		

申請事業名	相模川新戸地区芝ざくら保全事業	[5]
申請団体	新戸相模川芝ざくら保存会	
事業目的等	<p>相模川新戸地先第1堤防の法面は、高さ2メートルを超える雑草が繁茂し、また不法投棄が絶えないことから、この堤防の法面を綺麗にすれば、不法投棄やごみの投棄はなくなるだろうと考え、「孫への遺産 花の絨毯 芝ざくらまつり」をモットーに、平成14年9月から相模川に芝ざくらの植栽を開始し、現在では延長が約855mの区間において、芝ざくらの育成と維持管理を行っている。また、毎年4月には市の地域活性化イベントである「相模川芝ざくらまつり」を開催し、多くの来場客で賑わっている。</p> <p>しかしながら、芝ざくらの維持管理を開始してから約10年が経過し、会員の高齢化が進むなど、年間を通しての除草作業等が大きな負担となっている。</p> <p>こうした課題に対応していくため、雑草の発生を抑制する防草シートを、昨年度に引き続いて敷設することにより、除草作業等の負担軽減を図り、更なる効率的・効果的な芝ざくらの維持管理を推進する。</p>	
交付決定日	平成27年 3月12日	
交付決定金額	700,000 円 (全体事業費 700,000 円)	
団体実績報告	<p>事業実績 老化や夏の猛暑によって枯れた部分を始め、スギナなど雑草処理のため、法面の補修を施した個所等において、防草シート(延長約200メートル)を敷設 防草シート設置後は、当保存会で準備する芝ざくら苗の植え付け作業を実施 苗の植え付け後、速やかに散水等適切な植栽管理を実施</p> <p>自己評価 地域活性化事業交付金を活用し、スギナなど雑草の発生を抑制する防草シートを敷設することにより、除草作業等の負担軽減が図られ、効率的・効果的な芝ざくらの維持管理を行うことができた。 今後も、相模川の自然と環境を守り、芝ざくらの良好な景観を保持していくため、引き続き必要な個所における法面の補修及び防草シートの敷設等を計画的に実施し、維持管理の充実を図ってまいりたい。</p>	
市評価	<p>相模川の芝ざくらは、毎年4月の開花時期には、市内外から15万人前後の来場者が訪れ、市の魅力ある観光資源の一翼を担うとともに、新磯地区の地域活性化に寄与している。</p> <p>河川敷に芝ざくらを植えることにより、河川環境も大きく改善され、不法投棄の防止をはじめ相模川の自然と環境を守る役割に大きく貢献している。</p>	
備考		